

運動ハ茲ニテ浦田海務課長ノ排斥トナリ昭和十年十月十五日
社内ノ真正刷新ノ名ノ下ニ前記機関士協會ノ一部ノ中心トナ
リ航海士會其ノ他青年高級船員ヲ糾合シテ明訓會ナルモ
ノヲ結成スルニ至レリ(結成當時ノ會員數ハ不明ナルモ現在
船長 機関士 一等機関士 一等運載士ヲ除ク高級船員約一
三〇〇名中 會員ハ約五〇〇名ト推テラル)

斯クテ其ノ後次第ニ同志ノ獲得ニ努ムルト共ニ他方ニハ恰モ
日本海員組合内ニ組合ノ肅正ク目指シ 分裂結成セル新日
本海員組合トハ精神的ニ大イニ共鳴シ之レト接近氣脈ヲ通ス
ル機構アリタルヲ以テ會社ハ同年十二月高級船員ノ一切ノ會
合ヲ禁止シ明訓會 彈圧ノ聲ニ坐テタル爲メ 再東表面好活
動ハ全ク沈靜スルニ至レルカ同會ノ強硬分子 日比和一(墨
洋丸ニ等機関士) 矢部馬城生(墨洋丸ニ等機関士) 大島元春

(墨洋丸ニ等機関士) 等ハ其ノ後専ラ潜行的ニ策動ヲ續ケ之
カ機會ヲ窺ヒ居タルニ恰モ昨年十月二十五日御台艦神戶港
御入港當日 日本郵船所屬艦ノ国旗不掲揚問題ニ関シ會社カ
日本主義團體ヨリ糾弾セラルル(ヤ好機逸スバカラストナレ
畢竟斯ノ如キ同類ヲ惹起セルハ浦田海務課長初メ會社幹部ノ
國体觀念被知ニ因由セルモノナリトシ密々ニ議會同會中ヲ物
色シ一舟下船ノ斷行ヲ企圖スルト共ニ本年二月二日北東江
藤深九郎代議士其ノ他日本主義運動者等ニ協議ノ上之ヲ政
治向題化シ會社ヲ攻撃シテ一舉ニ鬱積セル浦田課長排斥ノ宿
念ヲ達成セムトセルモノナリ)

以下次頁